

わたし、歯みがき 大嫌い!!

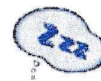


歯は、歯みがきが大嫌いですが、なぜ嫌いになったのか、そのわけを聞いて下さい。

歯みがきはねむくなる前に

わたしは初めてお母さんに歯みがきをもらったのは、1歳6ヶ月のころでした。

楽しい夕食がおわり、おなかがいっぱいになって眠くなってきたとき、急ににお母さんに起こされたのです。



お母さんは、どんな、表情をしていますか?

どうしたんだろうと思いつつお母さんの顔をみると、いつも笑顔とやさしい声でおはなしてくるのに、今日にかぎってこわい顔をして、歯ブラシを口の中に入れようとするのです。気持ちよく眠りかけていたのを起こされるだけでも不愉快なのに…。わたしは何をされるのかとわくわくして、泣きはしめました。すると、お母さんはもっとこわい顔をして、おこりはじめました。わたしはますますわくわくして顔に汗がうずまきました。そうしたら、口の中に入った歯ブラシが舌や歯ぐきにあたって痛くて痛くて、



わたしはそれ以来歯みがきが、大嫌いになりました。

フッ素の最大の副作用は**お母さんの過信**です。



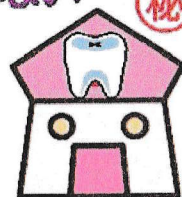
あまりにも私が歯みがきをいやがるので、お母さんはある日、わたしの歯を強くしようと、フッ素をぬりにつれていってくれました。フッ素をぬったことでお母さんは安心してしまったのか、まえみたいに歯みがきをむりじいするとはなくなりました。

また、前よりもおやつに甘いものをたくさんくれるようになりました。

どうやらお母さんは、フッ素をむし歯予防の本物薬だと思っているようでした。

ウソをついて歯科医院につれていかない 秘

3歳のお誕生日を前にして、わたしの歯にとうとう大きな穴が空いてしまいました。ある日、お母さんは、「デパートにつれていってあげる」といいました。でも、つれていぬれたのは歯医者さんでした。わたしはせっかく楽しみにしていたのに、と悲しくなりました。



何をされたかわからず、泣くだけだったわたし

麻酔がきいて、意識がすいすわって大きな口をあけると、先生に「わたし歯の穴にとりあえずセメントをつめて、麻酔がきいておさまよう」といわれたので、わたしは急に不安になり、泣いて大暴れしました。

でも、助手のお姉さんやお母さんにおさえつられ、穴にセメントをつめられてしまいました。わたしは、なにをされたのかわからず、ただただ泣きつづきました。



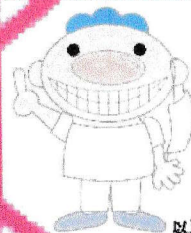
むし歯の原因を元から断たなきゃダメ!!

知ってから、先生はお母さんにお話をしました。その内容は

- ①歯の虫歯が自分のためだということを理解できるのは、はやく3歳から3歳半。5つは4歳くらいになってからだといいこと。また、その年齢に達すると、おりに虫歯をうけられる子どもたちが少なくなること。
- ②虫歯の予防とは、むし歯になっている部分をけずりとり、その穴に金属やプラスチックをつめたりすること。

しかし、むし歯になった原因がわかりず、今までの治療をだらだらつづけているのでは、いくらけずりつめたりして治療しても、そのまわりのきれいな歯も、やがてはむし歯になり、すくなくだめになってしまうこと。

以上のことを聞いて、今一度歯みがきやおやつの与え方について考えなおしてみることが必要です。と先生はおっしゃいました。



歯みがき嫌いのわたしのようにはさせないで!!



お母さんは、それ以来、また一生懸命歯みがきをしてくれるようになりました。

わたしも、歯みがきをしなきゃならない理由がわかりました。

でも、やっぱりこわい顔をしてお母さんの歯みがきは、大嫌いです。